



あっぷねす

発行：弘前大学生協本部
 〒036-8224 弘前市文京町1番地
 Tel: 0172-34-4806 Fax: 0172-36-6965
 2022年3月15日 第141号

1ヶ月に1回発行。弘前大学生協の活動をお知らせいたします。

弘前大学生協同組合のホームページは、「弘前大学生協」で検索！

Vol.141

昼食弁当販売 実験展開

期間：1月17日(月)～2月8日(火) ※平日のみ

時間：11:30～12:30 場所：理工学部2号館1階 総客数：321名



今回の弁当販売は「コロナ禍なので、混雑を避けて店舗を利用したい」「外に出なくても買いにいい」といったように、昨夏文京町3番地で実施したアンケートの声をを受けて実験展開を行いました。

メディア授業期間だったということもあり、利用者数は想定より少なかったですが、利便性の面で好意的な声が多く寄せられました。

今後はより利用しやすい店舗を目指し、取扱商品や営業時間も拡大しながら、サテライトショップ展開計画を進めてまいります。

食堂 Horest 副店長 山田彰吾

【利用者の声 アンケートより】

- 店舗まで行く時間が短縮されて便利。
- 農生からサリジェまで行くよりも近い。
- 安さ。美味しかったです。
- 悪天候時に大変助かる。
- 場所の制約もあると思いますが、弁当、パン、飲み物のほかにサラダなどがあると嬉しいです。
- 小腹が空いた時に実験の隙間時間でパンなどが買える。
- 建物内の移動のみで天候を気にせず購入が可能のため。
- 距離が近く、外に出なくて済む。あまり混雑していない。



デポジットまつり (弁当容器回収強化期間)

2021年度回収数
13,696個



「10円返金のシステムは知っていて捨てずに貯めているが持っていく機会がなく、大量に持っていくと人の目も気になります。まとめて回収する日や場所が欲しい」という一言カードの声に応えるため回収強化期間を設定。組合員の皆さまに広く周知できるよう、キャラクターを活用し、春(4月)・夏(七夕まつり)・秋(生協まつり)・冬(2月)の年4回開催したところ、通常期間よりもたくさんお持ちいただけるようになりました。引き続き回収を呼びかけていきます。

生協オリジナル弁当容器はリサイクルできます！

食べ終わった弁当容器は生協店舗へお持ちください。容器1個につき容器代10円返金します。(弁当代金に含まれています) ※回収強化期間以外も受付しています。

「ゴミ」ではなく「資源」として活用するために弁当容器回収にご協力ください。

協議事項

第1号議案 重点課題(環境、健康(食)、社会)について

第2号議案 総代会での組合員活動の時間について

総代会での組合員活動の時間の進め方について協議しました。SDGs2年目のテーマは「飢餓」「ジェンダー」。「飢餓」を考える時間では、生協での取り組みなどを紹介してはどうかという意見や、「ジェンダー」を考える時間では、「スポーツや学内の構成員などを切り口にする」「大学を卒業して環境の変化、入籍・家族が増えるといった中で、一生仕事をして家計を支えていくという意識を持っている人がどれくらいいるか」「構成を性別で決めるのではなく、能力で決める」などを考える材料にしてもいいのではないか、という意見がありました。

第3号議案 コロナ禍での新学期営業方針について

〈議決事項から協議事項に変更〉

第5号議案 2022年度店舗方針予算案について

議決事項

第4号議案 2021年度決算方針について

第6号議案 第61回通常総代会開催方針・議題の追加について

第7号議案 正規職員の人事異動について

第8号議案 正規職員諸手当等一体改革申し入れによる就業規則等改定について

第4、6～8号議案については、全会一致で可決承認されました。

詳しくは弘大生協ホームページ・理事会の議事録・発言録をご覧ください。

▶ REPセッション#6

開催日時：1月18日(火) 18:30~20:30

オンライン開催

参加人数：33名(総代：12名・学委：17名・生協職員数：4名)

開催目的

- ①総代が組合員から集めてきた意見・要望を、正規職員・学生委員会に直接届ける場所を設けること。
- ②総代・職員・学生委員会の3者の中の隔たりを無くし、総代が生協に深く関わっている人々とより気軽に話せるようにし、総代活動を活性化させること。



今回は、SHAREA店の小川副店長より「SHAREAの取り組み」というテーマで、取り扱っている商品や実施している企画についてお話ししました。冒頭、SHAREAの紹介動画(YouTubeにあります)を見たことで、関心が深まっている様子でした。意見回収の時間では、「取り扱っている商品やサービスについて」というテーマのもと意見交流をしました。一般の文房具店とは違う品揃えや新たな企画、サービス運営の案など生協職員と総代が一緒になって話し合いをしました。今回で今年度最後のREPセッションとなりました。来年度も引き続き、企画運営し、さらに総代活動を盛り上げていきますのでよろしくお祈いします!

前期受験生 保護者さまへの説明会を開催しました。



仙台会場

【対面】

開催日時：2月25日（金） 10:00~12:00

札幌会場：共済ホール 参加人数：77家族80名

仙台会場：中小企業活性化ホール 参加人数：56家族61名

【オンライン】開催日・参加数

・1月22日（土） 119組

・2月20日（日） 145組

・2月21日（月） ※医学科生向け 41組

・2月23日（水・祝） 114組

※「受験生保護者さまへの説明会」を、対面で行う予定でしたが、弘前会場がまん延防止等重点措置のためオンラインでの開催に変更、札幌・仙台会場でも密を避けるため物件掲示と個別相談を中止し説明会のみ開催しました。

札幌・仙台会場では、メモを取りながら話を聞いてくれる様子がみられたり、発表者、参加者ともに同じ空気を感じながら進めることができ、対面ならではの良い点を感じられました。しかし、感染防止のため個別相談を中止した関係で、「アパートの個別相談」も目的としていた保護者の方にとっては、やや満足度の低いものになってしまったように感じました。

オンライン説明会では試験日以外での開催となったことで、遠方からの参加者やご家族で参加される方もいて、毎回たくさんの質問をいただきました。



札幌会場



オンライン

特に20日は悪天候で吹雪の様子を動画で紹介したところ、弘前の冬についての質問がたくさん寄せられました。

冬の服装がイメージできるように学生メンバーが自分の上着やコートを着て見せたりと、オンラインならではの対応ができました。

対面、オンラインそれぞれのメリットを活かしながら、受験生、保護者の方の不安に寄り添いサポートできるよう心掛けていきます。

【質問】 弘前の冬の様子がイメージできない
雪で学校が休みになることはあるか
パソコンやiPadについての質問… 多数
どんなアルバイトをしているか
寮生は「一人暮らし特約（学生総合共済）」が必要か

【アンケートより】

- 食生活、パソコン・タブレットの使い方、住まい探しについて聞けてよかったです。
- コロナ禍の話をもっと聞きたかった。
- 学生の話に加えて、保護者目線の話もほしかった。
- 学生さんが自分の声で、自分の経験などを話してくださったのがとてもよかった。

学生委員会から受験生への応援メッセージ。

(写真：弘前東栄ホテルさんに宿泊された受験生の方へお渡ししたメッセージカード)



学生総合共済からのお知らせ

2月の給付状況

病気入院	3件
病気手術	0件
事故入院	0件
事故手術	0件
事故通院・固定具使用	10件
特定傷害固定具	1件
こころの早期対応	1件
父母扶養者死亡	2件
借家人賠償	2件
計	19件

給付金額

1,093,500円

たすけあいアンケートより

「皆さんののおかげで経済的にたすかりました。
ありがとうございます。」

(医学部医学科6年 顎変形症)

入院10日 手術1回 共済金150,000円)

- *借家人賠償は2018年度までに学生総合共済(火災共済)に加入した方の保障となります。
- *火災共済は2019年3月31日をもって新規募集を終了しました。



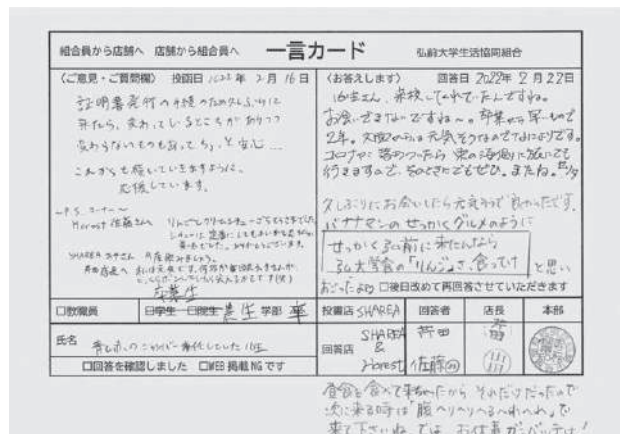
新入生サポートセンター OPEN

新入生サポートセンターでは1家族に対し、1名の大学生生活アドバイザーがつき、これから始まる「大学生活」への疑問や不安に応え、さらに充実したものにしていだけるよう、考えていただきたい「コト」、準備すべき「モノ」を具体的に提案させていただいています。

また、今年も感染対策として来場予約数制限、マスク着用、手指の消毒、アクリル板衝立、行動履歴管理(アドバイザー、来場者双方)を行い、営業継続しながら新入生の皆さんの入学準備をサポートします。

弘前大学生協では弘前大学から「福利厚生業務」「教育支援業務」「研究支援業務」「その他大学業務」の業務委託を受けています。その一つとして新入生の大学生活準備サポートを行う「新入生サポートセンター」を開設しています。

編集後記



「一言カード」への投稿に(なぜかはわかりませんが)卒業生からのメッセージが届くことが増えました。今回のカードも生協全体へ向けての他に、生協職員個人へ向けてびっしりと書いて来ています。もちろん、生協からもびっしりお返事を書かせていただきました。

「久しぶりに来たら変わっているところがありつつ、変わらないものもあってちょっと安心…」とのこと。時代に応じて変わっていくことはありますが、同じ変わるでも「前より良くなったね」と言われるように、いつでも来なくなる場所でありたいと思います。(SHIMO)